

指定管理者導入施設 管理運営総合評価シート

1 評価対象施設の概要

施設名称	生駒市体育施設（山麓公園テニスコート、TAC井出山スポーツパーク、HOS生駒北スポーツセンターを除く）			
所在地	生駒市門前町9番20号（生駒市体育協会滝寺S.C.）他			
指定管理者名	一般財団法人生駒市体育協会	指定期間	開始日	平成27年 4月 1日
利用料金制適用区分	利用料金制		終了日	令和 2年 3月31日
選定方法	公募	評価実施年	最終年度を除く指定管理期間全体	
設置目的	市民の体育及びレクリエーション、社会体育の振興など			
主な実施事業等	体育施設の使用許可、使用の制限、使用料の徴収窓口業務、体育施設の維持管理運営など			

2 利用実績

利用区分等	単位	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
グラウンド・野球場・相撲場	人			235,278	173,298	226,676	220,295
体育館（会議室・多目的室含む）	人			260,012	235,473	270,158	261,613
武道館	人			17,839	17,932	21,445	20,160
テニスコート	人			83,062	83,139	94,948	88,328
プール	人			37,050	32,028	26,727	21,872

3 事業収支

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
収入計	A	0	0	194,243,041	202,589,132	202,260,686	201,059,056
指定管理料				151,031,280	160,808,000	161,132,000	161,132,000
利用料金収入				35,703,680	37,566,155	37,084,370	36,238,472
自主事業収入				2,158,035	2,384,250	2,525,004	2,371,888
その他				5,350,046	1,830,727	1,519,312	1,316,696
支出計	B	0	0	199,467,297	203,215,996	201,881,315	201,354,340
指定事業費				190,557,667	198,966,921	197,082,897	195,834,629
自主事業費				8,909,630	4,249,075	4,798,418	5,519,711
事業収支	A-B	0	0	-5,224,256	-626,864	379,371	-295,284

4 管理運営状況評価

有効性 ：施設の設置目的の達成（施設の目的や特性等に合致した管理運営、市民の平等な利用の確保、利用者の満足度等）	
指定管理者による自己評価	安全かつ6施設で統一された窓口業務の中、スポーツに取り組んで頂ける環境作りを構築してきた
市の評価	市の受付事務の手引き等を遵守し、公平で適正な施設使用許可がなされていた。また、市のスポーツ振興の最も中心的な存在である（一財）生駒市体育協会が指定管理者であるため、利用者目線に立った管理運営や、協会加盟29競技団体からの要望を、素早く対応されているため、市への苦情や要望等も少なく、利用者の満足度は高いものである。
効率性 ：経費の縮減等の効果（経費縮減・収入増加の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	固定経費の割合が高い中、器具故障の時はLED照明器具に取り替えたり、長期的な展望をもって、修繕を行ってきた
市の評価	軽微な施設の修繕や備品の修理等は、管理者自らが行うなど経費の節減をされている。また利用者サービスとしての物品販売や自動販売機の設置など収入増加対策を講じられており、高い満足度を得られている。
適正性 ：適正な施設の管理運営（施設の管理運営の状況、自主事業の取組、安全管理・危機管理体制等）	
指定管理者による自己評価	市内在住者を各施設に配置し、非常時に短時間で対応できるよう常に事務局を中心に報告連絡を密にとれるよう体制を整えてきた
市の評価	地元体育協会が指定管理者となる強みを活かし、地域との連携での各種事業開催や、市民を積極的に雇用されている。また自主事業の大きな柱である総合型地域スポーツクラブ「いこ増ッスルクラブ」の運営の中で、施設利用が少ない時間帯や曜日クラブの教室等で有効に活用されている。危機管理の観点では、スポーツ活動には事故が起こる可能性が高いことや各施設が避難所になっていることから、防災防火対応の専門知識を有する人材の雇用について評価できる点である。

安定性：サービスの安定的な提供（事業収支の状況）

指定管理者による自己評価

全体には、自主事業である総合型地域スポーツクラブの動向に左右されるが、指定管理だけをとらえれば大きな変動がないかぎり今まで通りの収支で推移できる

市の評価

今期から利用料金制を導入しているため、年度により施設利用料収入に若干の違いが生じているが、施設の有効活用や自主事業などで収入を増加させる努力をされている。自主事業である総合型地域スポーツクラブ「いこ増ッスルクラブ」の収支は赤字ではあるが年々黒字へと向かいつつあるので、更なる発展と会員の増加を期待している。

5 総合評価（指定管理期間全体を通じた管理運営に対する評価）

指定管理者による自己評価

1期目が終わり、2期目に入り利用料金制となったが収入増とならない中、支出を抑える工夫と今までに無かった収入増を模索中です。また、施設自体も老朽化が年々進み管理者として現状維持を最低限に管理しているのが現状です

市の評価

指定管理者として2期目を迎えたが、市内最大のスポーツ団体である（一財）生駒市体育協会が指定管理者であることで、1期目以上に市民の方からの信頼も厚く、柔軟な対応をしていただけたおかげで、大きな問題もなかったと感じている。また自主事業の中心的事業である総合型地域スポーツクラブ「いこ増ッスルクラブ」については事業内容も年々充実している。今後は今以上に市や関係団体と連携・協力し、会員の増加を目指してもらいたい。